

## 平成30年度後学期 社会人公開授業

科目名	社会学
大学名	岐阜経済大学
講師	岐阜経済大学 経営学部 教授 竹内 治彦 (たけうち はるひこ)
初回配信日	2018年10月1日(月)
配信スケジュール	毎週月曜日
聴講方法	eラーニング授業
科目内容	今日の社会変動の基本的な要因の一つとして、グローバル化を考え、経済的なグローバル化と生活的な保守性やローカリズムの相克の問題として、今日の社会問題を考える。半期の講義では多くをとりあげることができないので、人口問題、社会階層問題を中心に講義を行う。
注意事項	平成25年度コンテンツ

## 授業の配信日程

回	日付	講義テーマ
第1回	10月1日	導入（オリエンテーション）：社会とは何か社会学の講義を始めるにあたり、社会、社会関係、社会的行為といったものの概念を整理する。
第2回	毎週月曜配信	世界の人口と人口転換：グローバル化を考えるうえで重要な人口の変化について、人口転換を中心に講義する。
第3回	〃	合計特殊出生率：少子化を計るさいに用いられる合計特殊出生率の意味と算出方法について講義する。
第4回	〃	戦後日本の出生率の変化：今日の日本の少子化の状況について、日本での経年的な比較と、国際比較を通じて、その特徴や原因を明らかにする。
第5回	〃	晩婚化：合計特殊出生率の減少の原因は、結婚している女性の出生率ではなく、そもそも結婚自体が減少していることにある。なぜ、晩婚化が進むのか検討する。
第6回	〃	子育て支援策：急激な少子化の進展に対して、働くことと子育ての両立をはかる施策が様々とられるようになった。これらについて概説する。
第7回	〃	社会階層 定義と問題意識：人口移動の原因の一つには格差があることから、格差を見る視点を深める意味で社会階層について検討する。
第8回	〃	身分、階級、階層：現代的な社会階層の特徴を過去の身分や階級と比較して明らかにする。高度成長と流化、そして格差社会へ：1970年代後半から日本は一億総中流ということが言われた。総中流化の構造的要因を説明する。
第9回	〃	格差社会：2000年代に入ると、格差社会ということが言われるようになった。日本の格差は広がっているのか検討する。
第10回	〃	ジニ係数を求めてみよう：経済的格差を計る代表的な指標であるジニ係数について、概念と算出方法を講義する。
第11回	〃	ジニ係数の応用：世界の経済格差をジニ係数を用いて考える。
第12回	〃	高校後の進路について：教育を社会移動手段ととらえ、それへのアクセスの拡大として、高学歴化を考える。
第13回	〃	日本で働く外国人：日本で働く外国人の労働者について統計的に明らかにする。
第14回	〃	国際労働力移動と受入れ支援策：外国人労働者問題をより一般的に国際労働力移動としてとらえ、その実際や理論について学ぶ
第15回	〃	グローバリズムと反グローバリズム：グローバリズムの進展に対して、シアトルの WTO 会議以来、反対する市民運動が注目されている。資本主義のグローバル化にたいして、社会の立場からどのような議論が行われているか、紹介する